

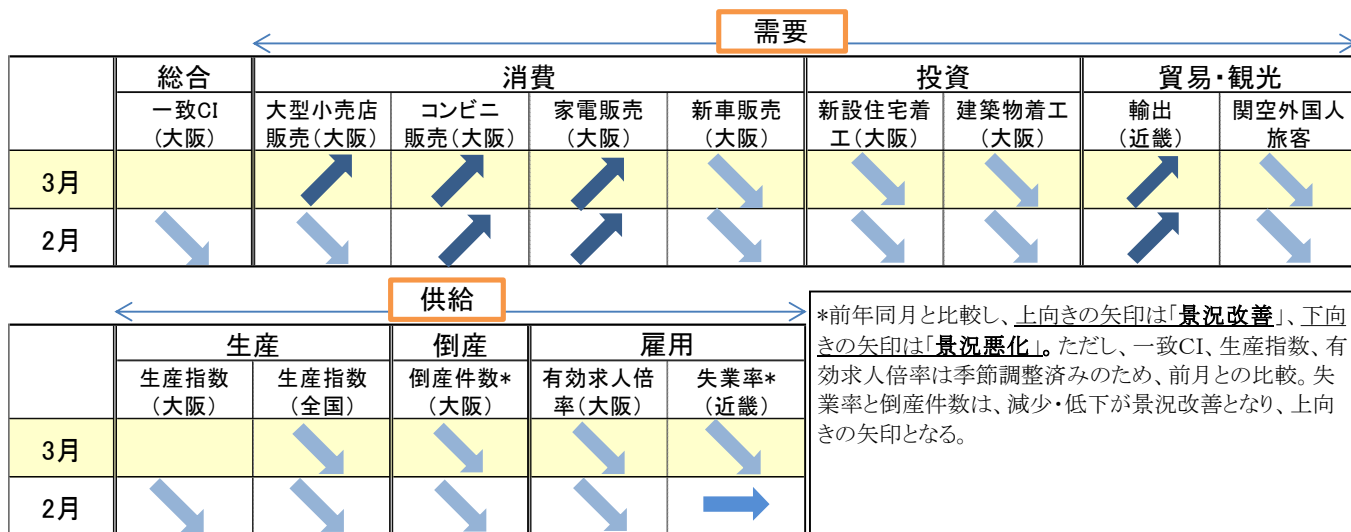
大阪経済の情勢（2026年3月指標を中心に）

「大阪経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している」

需要面では、個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額は増加。新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;2月)は減少。投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに減少。公共投資は増加。輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

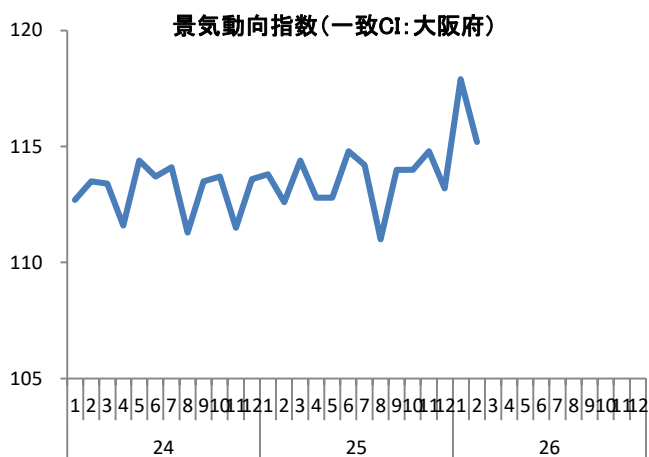
供給面では、生産動向は、弱い動きとなっている。大阪府(2月)は、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(2月)は低下。全国の生産(3月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。雇用は、持ち直しの動きが弱まっている。近畿の失業率は横ばい。有効求人倍率は低下、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(2月)は上昇。

先行きでは、中東情勢による経済への影響や、世界の経済・金融の動向について、引き続き注意が必要。



●景気動向指数(CI)

大阪府(2月)では、一致CI、先行CIはともに低下。大阪府(一致CI)では、主に「製造工業生産指数」「所定外労働時間指数(製造業)」などが低下に寄与。



(資料)大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」 ※2020年=100

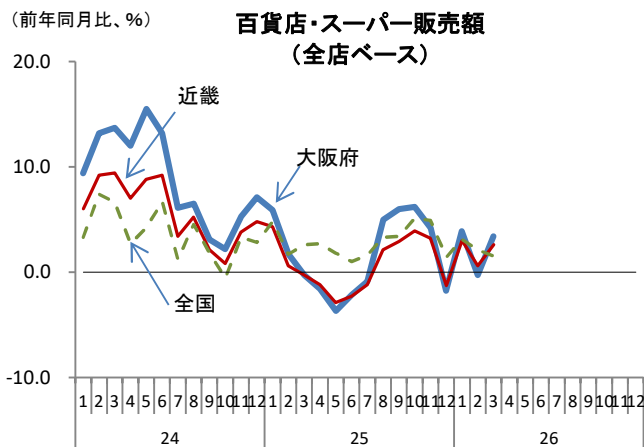
一致CIの個別系列の寄与度* (大阪府、2月速報)

百貨店売場面積当たり販売額	大阪税関管内輸入通関額	製造工業生産指数	生産財出荷指数	人件費比率(製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間指数(製造業)
▲0.39	0.17	▲0.82	▲0.20	▲0.58	▲0.28	▲0.59

※CIの変化が、個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

●個人消費

個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額は増加。新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;2月)は減少。



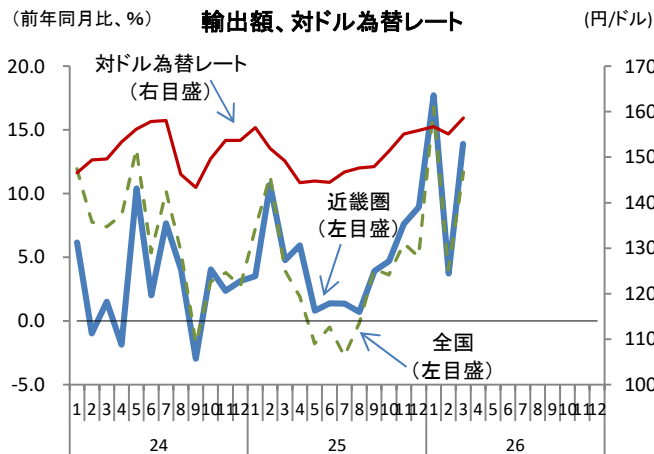
(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」

業態別の増減(大阪府、全店、前年同月比(%))、3月速報

大型小売店 合計		3.4
うち	百貨店	4.1
	スーパー	2.5

●貿易

輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。



(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」 ※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

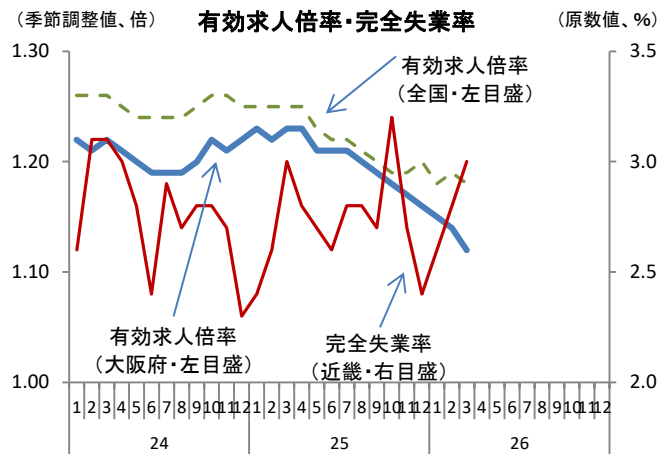
主要地域(国)別の増減(近畿、前年同月比(%))、3月)

アジア(含む中国)	15.5	2ヶ月ぶりの増加
中国	18.0	2ヶ月ぶりの増加
ASEAN	13.3	3ヶ月連続の増加
EU	21.4	3ヶ月連続の増加
アメリカ	9.7	4ヶ月ぶりの増加

(資料)大阪税関「近畿圏貿易概況・速報」

●雇用

雇用は、持ち直しの動きが弱まっている。近畿の失業率は横ばい。有効求人倍率は低下、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(2月)は上昇。



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※近畿の完全失業率は原数値。

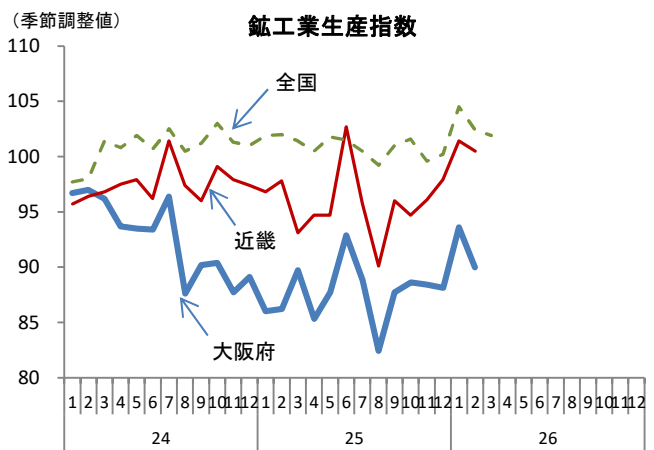
新規求人数の主要産業別増減(大阪府、前年同月比(%))、3月)

産業計	▲6.5
建設業	▲0.3
製造業	▲1.1
卸売業、小売業	▲4.4
宿泊業、飲食サービス業	▲27.0
医療、福祉	2.6

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

●生産

生産動向は、弱い動きとなっている。大阪府(2月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(2月)は低下。全国の生産(3月)は低下。



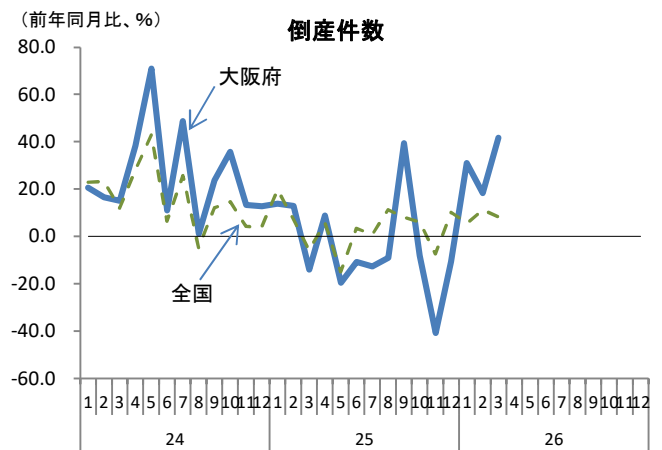
(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」 ※2020年=100。

産業別の主な変動(大阪府、前月比(%))、寄与度順、2月速報)

上	化学工業 (27.8) : 医薬品、炭酸ガス
昇	食料品工業 (7.6) : ウイスキー、食用油脂
低	輸送機械工業 (▲40.3) : 鉄道車両部品、鉄道車両
下	金属製品工業 (▲23.6) : 橋りょう、スチール製缶

●倒産

企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

主な倒産(大阪府、3月)

業種	負債額(百万円)
半導体製造装置部品製造ほか	800
不動産仲介・賃貸・管理業ほか	676
不動産仲介・管理業ほか	641
婦人服販売	605